

第29期第13回常任理事会議事録

日 時：1997年12月19日（金）13時35分～16時30分

場 所：気象庁内気象学会事務局

出席者：松野，関口，二宮，藤部，村松，住，新野，
田中（博），城尾，竹村，永田，以上11名

その他の出席：事務局（館）

議 事

1. 第29期第12回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会報告

庶務…転載許可：2件

(1)気象集誌 Vol. 65, p. 259-277, p. 262, Tab. 1, 「Soil and Groundwater Pollution and Remediation: Asia, Africa and Oceania.」へ転載.

(2)「天気」第43巻 p. 97第12図, 日本体育・学校健康センター刊行の「教職員のための防災事典」へ引用.

• 後援名義等使用依頼の承認：2件

(1)第30回乱流シンポジウム・第9回計算流体シンポジウム・第3回環境流体シンポジウムの協賛

(社)日本流体力学会主催, 1998年7月28日～30日, 工学院大学新宿校舎

(2)平成9年度気候講演会「地球温暖化予測の最近の話題」の後援

気象庁・(財)日本気象協会主催, 1998年2月8日, 科学技術館サイエンスホール(東京都千代田区), その他の後援機関: 運輸省, (財)気象業務支援センター

• 1998年度文部省「研究成果公開促進費」研究成果公開発表Bの申請状況

(1)北海道支部 「苫小牧周辺の気象と自然環境」

平成10年10月16日, ホテル ニュー王子(苫小牧市)にて

(2)中部支部 「20世紀と21世紀の地球環境の変遷」

平成10年8月29日, 名古屋国際会議場にて

(3)沖縄支部 「気候風土から見た八重山の魅力」

平成10年10月27日, 石垣市民会館にて

• 1997年度文部省「研究成果促進費」研究成果公開発表Bの実績報告 11月14日

沖縄支部より

「台風と沖縄の地域経済」に関する学術講演会, 沖縄県女性総合センター「ているる」にて, 平成9年10月28日, 参加者160名.

• 1998年度会費請求

個人のグループ別会員 11月25日

個人会員 12月1日

• 「平成10年度における学術研究集会等開催予定について」調査依頼 12月1日
日本学術会議事務局より

• 「平成10年度学術定期刊行物計画調書(気象集誌)」文部大臣宛提出 12月2日

• 第14回(平成9年度)「井上學術賞」選考結果 12月3日

当学会推薦の候補者は選考に漏れた旨, 通知があった.

• BBS 電話回線(03-3212-9648)の休止連絡 NTT 宛 12月11日

12月31日で回線休止とする. なお, 必要時は復帰可能.

• 機関誌年内発送予定

「天気」12月号 12月22日

「気象集誌」6号 12月22日

会計…1997年11月の収支報告

• 最近の金融機関の状況等を考慮し, 学会財産の預入先を分散する必要がある旨, 問題提起.

天気…Vol. 44 No. 12 (1997年12月号) 掲載記事と, Vol. 45 No. 1～2号掲載予定記事の紹介.

気象集誌…Vol. 76 No. 1 (1998年2月号) 掲載記事

• 最近の集誌引用件数の変化に関する事情の説明

(1996年の Impact Factor が0.713となった件)

気象研究ノート…1997年度の発行計画(189号以降)の紹介

189号は発行済み. その他数号が本年度内に発行の予定.

奨励金…奨励金制度の見直し(第9回常任理事会議事録参照)

奨励金を「奨励賞」とし, 賞金額も見直す方向で検討している旨, 担当理事から説明があった. 常任理事会として基本的に了承し,

賞金額は他の賞と合わせることでとなり、さらに内容を固め、関係する細則の変更として総会に提案することになった。

電子情報…気象学会のBBS（電子掲示板）、ホームページアクセス状況

（それぞれ16件，32,110件）

・学術情報センターの電子図書館サービス

1998年4月から、印刷出力に対し課金することになる旨、同センターより連絡があった旨、報告。

3. 会員加入状況

新入会員7名を承認、退会45名の報告。会員数4,673名（内、通常会員4,155名）。

4. 定款の一部改正（第4回理事会議事録参照）

社会の変化に合わせて気象学会の在り方に関し問題を幅広く検討するため、評議員選出に関する定款を改正する方向で検討してきたが、今後も引き続き検討することになった。

5. 1998年度事業計画（案）の検討

6. その他

・東京大学気候システム研究センター新田勲教授の追悼文を「天気」に掲載する件

同氏のこれまでの学会に対する貢献を考慮して、理事長の依頼により「天気」に追悼文を掲載することになった。



助手公募

1. 公募人員

北海道大学低温科学研究所 寒冷海洋圏科学部門・助手1名

2. 研究内容

寒冷海洋域、特に海水域における大気-海洋相互作用を主として物理的手法を用いて研究する人を希望します。

当研究所は、寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用の研究を目的とする全国共同利用の研究所であり、その中で、当部門では寒冷海洋域が地球全体の気候システムにおいて果たしている役割の研究を中心課題としています。

3. 応募資格：博士取得者またはそれに準ずるもの

4. 着任時期：決定後なるべく早い時期

5. 提出書類

①履歴書 ②主な研究歴 ③研究業績リスト ④主要論文別刷5編以内(研究業績リストに○印) ⑤

これまでの研究概要（A4，1枚）⑥これからの研究展望（A4，1枚以上）⑦応募者についての意見を聞ける人2名（連絡先）

6. 公募締切：平成10年4月末日必着

7. 書類提出先：〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目

北海道大学低温科学研究所 本堂武夫

8. 問い合わせ先：北海道大学低温科学研究所教授 竹内謙介

TEL：011-706-5470

FAX：011-706-7142

E-mail：takeuchi@lowtem.hokudai.ac.jp

ホームページ：http://clim.lowtem.hokudai.ac.jp/kobo/

9. その他：封筒の表に「寒冷海洋圏科学部門助手応募書類」と朱書き、書留でお送りください。